

## 第2章 豊橋鉄道（新豊橋～植田）

～第39回わいわい会に対応～

第39回わいわい会は、炎天下の中、次の通り実施。

- ① 平成22年7月23日（土）JR豊橋駅前13時30分集合（11名参加）  
豊橋鉄道渥美線（新豊橋＝植田：6.3km）踏破し、植田＝三河田原間（11.7km）を電車にて移動。料理旅館大谷屋で宿泊。
- ② 7月25日（日）  
三河田原駅（9時）からバスにて伊良湖岬まで移動し、観光。  
伊良湖岬発（11時33分）のバスにて豊橋まで移動し、豊橋駅ビルの鈴の屋にて反省会。14時40分解散。

<一日目>

7月23日（土）、5時前に起床し、愛犬セブンを散歩させる。南林間7時25分発（急行藤沢行）に乗車し、中央林間駅からの乗車の宇賀神さんと合流。JR藤沢駅で青春18きっぷの手続きをし、小田原行の藤沢発8時22分の電車に乗る。小田原駅には9時2分到着。小田原駅で久米さんと合流する。小田原9時29分発の電車にて熱海（9時52分）まで移動。熱海から豊橋までのダイヤは次の通り。熱海駅で藤田さんと坂本さんと合流、そして、藤枝駅で西田さんと合流し、これで青春18きっぷ組予定メンバーと無事お会いできる。

乗り換え 熱海（9時58分）→ 藤枝（11時32分）→  
島田（11時40分）  
乗り換え 島田（11時49分）→ 浜松（12時33分）  
乗り換え 浜松（12時42分）→ 豊橋（13時17分）



豊橋駅

豊橋駅で新幹線利用の寺西さんが私達を出迎えて頂く。JR 豊橋駅改札口前で新大阪から新幹線利用の大塚さん、こだま 649 号乗車の木内さん、福家さん、門口さんと順次合流し、本日参加予定の 11 名が時間通り待ち合わせ場所に揃う。簡単な挨拶を済ませ、そじ坊にて 30 分程度結団式（昼食）を行なう。なお、木内さんと門口さんは昼食済みとのことでこの結団式には参加せず。14 時 10 分、JR 豊橋駅前で記念写真を撮影。14

時 15 分、始発の新豊橋駅より、<sup>おいつ</sup>10.7 km 先の目標の老津駅を目指して歩き始める。炎天下のため、サングラスをかけ、傘をさし、濡れタオルを首に巻いて歩く。14 時過ぎなので、辺りの温度は 35℃位あっただろう。ただ、少し風はあったが。豊橋駅から柳生橋駅までは渥美線の直ぐ右側を歩く。また、暫くは数年前豊橋＝浜松間で見た風景が思い出され懐かしかった。



新豊橋 (0.0 k m) → 柳生橋 (1.0 k m) → 小池駅 (1.7 k m) → 愛知大学  
前 (2.5 k m) → 南栄 (3.2 k m) →  
高師 (4.3 k m) → 芦原 (5.3 k m) → 植田 (6.3 k m) →  
向ヶ丘 (7.1 k m) → 大清水 (8.5 k m) → 老津 (10.7 k m) → 杉山 (12.7  
k m) → やぐま台 (14.0 k m) →  
豊島 (15.5 k m) → 神戸 (17.1 k m)  
→ 三河田原 (18.0 k m)



最初の駅柳生橋 (14 時 37 分) で、体調等を勘案し、寺西さん、福家さん、坂本さん、久米さん、西田さんの 5 名がアップする。この 5 名は電車にて三河田原駅まで移動、そして本日宿泊の大谷屋に向う。残り 6 名で老津駅を目指す。柳生橋駅から少し行った先で川と JR 線・新幹線が絡み小池駅への歩きを複雑にさせた。運良く通りかけた人に尋ねた先に、小池駅 (14 時 50 分) があった。この駅前で集合写真を撮る。14 時 59 分、

伊良湖岬・田原への幹線道路（県道 259 号）に出る。

この道路を真っ直ぐ行った先に愛知大学前駅があったのだが、誤って左折（浜松の方向）する。そのため幾ら行っても鉄道らしき場所は見つからず。それで地図を確認し、現在地を確認する。どうも誤って進んでいるようであった。それで、数名の住人に尋ねて方向を修正する。先程の幹線道路下に渥美線があった。電車で鉄道状況を確認していないため止むを得ないだろう。15 時 18 分、前方に愛知大学前を見つける。15 時 20 分、愛知大学前という看板は駅舎前にはなし。駅員に尋ねて駅ホームの愛知大学前で代用する。駅の直ぐ隣に愛知大学（中日ドラゴンズ岩瀬投手の母校）があった。ここでこの大学の女子学生に集合写真を撮って頂く。



愛知大学前



南栄駅



高師駅

南栄駅までの道のり、木内さんや門口さんからかき氷を食べたいとの要望あり。しかし、道路沿線上このような店なし。立派な駅舎がある南栄駅には 15 時 35 分に到着。こ



の駅舎にある自動販売機で氷が入った飲料水等を各自購入し、10分程度休憩する。高師駅への道のりで松並木に出くわす。この並木道は熱くなった体を癒してくれた。高師駅には16時2分到着。近くにあるセブンイレブンに立ち寄り、トイレ休憩。そして、氷の入ったカップを購入し、大塚さんから自宅で作られた梅酒を頂戴する。渴いた咽に氷に入れた梅酒は最高であった。体の芯まで冷えた感じがする。ここでも10分程度休憩する。この駅から、幹線道路から外れ、鉄道の直ぐ右側を歩く。駅舎が貧相な芦原駅には16時28分到着。



芦原駅

植田駅への道

ここから、道が行き止まりとなり、線路を渡り鉄道の左側に出る。前方を梅田川が遮る。橋は右手500m位先に見える。因みに線路の下を潜り反対方向に橋があるか確認に行くが、見当たらず。「植田駅への道はあの橋しかありません」とメンバーに進言。「それでは芦原駅に引き返そう」という意見が多数をしめた。しかし、ウォーキングの醍醐味を進言した結果、私の意見に賛同を頂く。16時43分、梅田川越えに大きく迂回する。川幅は万歩計で136歩だった。16時56分渡り終える。川を渡った先で、再度鉄道に近づく歩きをする。数人の人に植田駅への道を聞きながら、くねくねした道を歩く。しかし、線路は中々見当たらず。やっと17時25分頃線路を見つける。200m位行き過ぎていた。線路を見つけた先に〇〇鳴神社があった。達筆で難しい漢字なので読めず。17時27分、三河田原行きの電車が植田駅に入場してくる。遠回りをしたので、この電車には乗れず。



植田駅近郊

植田駅には17時28分到着。上り電車が17時35分やって来る。植田駅17時45分発の電車で本日宿泊する“料理旅館大谷屋”がある三河田原駅に向う。電車は冷房がよくきき熱くなった体を冷やしてくれた。18時6分、三河田原駅で記念写真を撮影。それから大谷屋に向う。



植田駅



お疲れ様!!

旅館には18時11分到着。旅館から少し行った先には夏祭りの会場があった。車庫を潜った先に、洒落た玄関があった。マスターに挨拶をする。ロビーには寺西さん、福家さん、坂本さんの姿があった。久米さんと西田さんは先程まで、ここに居られたとのことであった。食事は19時半からとする。部屋割りは、女性4名（門口さん、久米さん、西田さん、宇賀神さん）、男性2名（寺西さん、福家さん）、男性5名（木内さん、藤田さん、坂本さん、大塚さん、檜原）とする。風呂が狭いため、女性陣から順次入ってもらう。風呂は粗末だったが、汗だくだくの体を洗い流してくれた。



大宴会前





19時35分から宴会となる。その前に記念写真を撮影する。美味しそうな料理が次から次と出てくる。食べきれない程の刺身盛り合わせは、宿泊料以上に多少贅沢な気持ちにさせてくれた。鰻の蒲焼、鮎の塩焼きもよかった。30分位してから、各自近況等をしゃべってもらう。22時過ぎまで続く。私は、本日の御礼と次回の泊まりの場所・時期を中心にスピーチさせて頂く。各位に要望を出して頂くよう投げかける。飛騨高山、琵琶湖等意見が出される。その中で有力な候補として「米原＝彦根歩き、彦根宿泊、明くる日彦根城散策」が出る。この旅行が可能かどうかを明日の朝食会で報告することで一次会を締める。明日の日程についても連絡する。







大宴会

<山手線一周歩き>

- 大崎＝新宿（第 32 回：平成 20 年 12 月）
- 東京＝大崎（第 36 回：平成 21 年 12 月）
- 駒込＝東京（第 40 回：平成 22 年 12 月）
- 駒込＝新宿（第 44 回：平成 23 年 12 月）

二次会は 22 時半よりロビーで開催する。残った焼酎、刺身、宴会でお願いした乾き物で二次会をする。24 時過ぎまで続く。本日は炎天下の歩きで疲れたのだろう。流れ解散となる。最後は福家さん、大塚さん、宇賀神さん、樫原の 4 名であった。この二次会で朗報を得る。平成 20 年 7 月 26 日、前首相の鳩山由紀夫氏がこの旅館を訪れたときの記念写真を見せて頂いたからだ。また、鳩山一郎氏のサインの屏風も。この写真にはこの屏風前で鳩山由紀夫氏を囲んでマスターや奥さんそしてお子様の姿があった。



二次会マスターと一緒に



二次会



鳩山一郎氏のサインの屏風 料理旅館大谷屋前

<二日目>

朝 5 時頃目が覚め、ロビーにて彦根旅行ができるか否か持参した時刻表にて調査する。昨日のダイヤの延長線で米原には 16 時前に到着できることを確認する。明るる日彦根から東京への旅も彦根を 12 時過ぎに出れば、何とか東京には 21 時前に到着できることを確認する。これで彦根旅行が厳しいスケジュールではあるが、青春 18 きっぷで実現できそうでほっとする。この朗報を朝の朝食前にアナウンスする。



朝食会



朝食会は7時27分より始まる。朝食を摂りながら、来年7月実施の彦根旅行について、正式に報告する。参加の各位から賛同を得る。大塚さんに関西からの参加をお願いする。気持ちよく引き受けて頂く。そして、本日のスケジュールについても報告する。朝食会は8時頃まで続く。精算を8時10分頃までに済ませ、8時29分、大谷屋の玄関先で記念写真を撮る。8時半過ぎ、蔵構えの立派な駅舎の三河田原駅に向う。





8時42分、この駅前でも記念写真を撮る。伊良湖岬行のバス停は駅前にあった。三河田原駅発9時の定期バスで伊良湖に向う。途中、バスの運転手から色々ガイドを頂く。そして、木内さんに運転手さんのガイドを復唱いただく。そのなかでショッキングであったのは、「9月でもって鳥羽＝伊良湖フェリーが無くなる」という話である。それ故、「最後のフェリーの記念写真を撮ってきて下さい」と。私も含め皆さん非常に寂しい思いとなっただろう。「観音像が寝たような山の景色や福江までかつて鉄道があった」という話もして頂く。廃線となった豊橋鉄道のうち撤去されていない線路の場面もガイド頂く。そんな説明を受けているうちに、伊良湖岬には9時46分到着。帰りの豊橋行バスは11時33分とする。それ故、「11時20分までにはバス停前に集合してほしい」旨の話をし、自由行動とする。私は海岸線に出て、最後となる鳥羽丸や伊勢丸の船体を撮影する。



伊良湖岬にて



※地元の自治体等のご尽力でこのフェリーの便は現在でもあるとのこと。

<訪問した主な神社仏閣>

三島大社（第22回：平成18年6月）、浅間大社（第26回：平成19年6月）、  
身延山久遠寺（第26回）、熱田神宮（第50回：平成25年7月）



その後、藤田さん、坂本さんと一緒に伊良湖岬の海岸線に出向き散策する。知多半島や鳥羽が遥かに見える。風光明媚な風景に改めて感動する。青い海青い空は暑さを多少和らげてくれた。海岸線散策後、観光センターでメロンソフトクリームや塩あんもちを堪能する。あっという間に90分の自由時間が過ぎ去る。全員で11時14分、鳥羽丸の前で集合写真を撮る。そして、11時33分の定期バスで豊橋に向う。途中、三河田原駅で東京に一足先に帰る坂本さんと藤田さんが下車する。残り9名は豊橋駅に向う。

“鉄道つたい歩き” だけでは  
ありません

<城散策>

掛川城（第35回：平成21年8月）、彦根城（第43回：平成23年7月）、  
犬山城（第47回：平成24年7月）

<湖畔歩き>

諏訪湖（第18回：平成17年7月）、浜名湖（第35回：平成21年8月）、  
琵琶湖（第43回：平成23年7月）





伊良湖岬をあとにする

豊橋駅には予定の 13 時 14 分より少し遅れて到着する。豊橋駅手前には小田原駅があった。バスは 13 時 20 分頃到着する。駅ビルの B1 の鈴の屋で反省会をする。「おこぜ」という漢字が魚編に豊橋の豊で構成されているという、大塚さんのタイムリーな話題に思わず笑いが出る。楽しい団欒が 14 時 40 分頃まで続く。



鈴の屋で反省会

そして、15 時前解散。青春 18 きっぷ組は予定通り、次の電車で小田原まで移動する。

豊橋 15 時 4 分 → 浜松 15 時 39 分 (乗り換え)

浜松 16 時 1 分 → 藤枝 16 時 53 分 → 熱海 (乗り換え)

熱海 18 時 59 分 → 小田原 19 時 21 分

途中、藤枝で西田さんを、小田原で久米さんを見送る。それから、小田原で19時30分位の電車で乗り継いで藤沢駅で下車する。3次会を福家さん、宇賀神さん、樫原の3名にて1時間程庄屋で行なう。ここでも話が弾む。そして21時半頃解散する。自宅には22時半頃となる。充実した二日間であった。

炎天下でのウォーキング、宴会、伊良湖岬観光そして反省会、青春18きっぷの効率的活用と大任を終えほっとする瞬間でもあった。自分が想定した通りにスケジュールが運び、大いに満足感に浸ることができた。何よりよかったことは全員が元気で解散できたことである。改めてスタートからエンドまでのプランの重要性を教えてられた旅行でもあった。



## ＜豊橋鉄道フォロー＞

2022年7月26日（火）、飯田線下見の旅の際対応

（中央本線の旅日記から引用）

豊橋駅には13時23分到着する。駅前の立ち食い蕎麦屋”壺屋”に立ち寄り遅い昼食とする。ここで溝縁さんと別れ、豊橋鉄道の3駅のリベンジに向かう。10種類の渥美線カラフルトレインには改めて感動する。第39回わいわい会の12年前の懐かしい記憶が朧気に思い出された。

高師駅（14：12）から南榮駅（14：27）まで歩く。

**渥美線カラフルトレイン**  
COLORFUL TRAIN

1年を通じて様々な花が咲く渥美半島。ここに訪れる方へ「渥美線カラフルトレイン」が、旅に彩りを添えます。「渥美線カラフルトレイン」は、咲き誇る渥美半島の花々をデザインした10色のカラフルな電車です。さて、あなたは何色に乗って渥美半島へ旅立ちますか。

※車両検査等の都合で、花の時期に運行出来ない場合があります。  
※車両の運行ダイヤはご案内いたしかねます。ご了承ください。

 <b>つばき【1803号】</b> 豊橋市の花として公園や道路に多く植えられている	 <b>ばら【1801号】</b> 農業産出額では、田原市は市町村別で全国トップレベル	 <b>菊【1810号】</b> 電照菊のハウスの灯りが美しく渥美半島を彩る
 <b>菜の花【1807号】</b> 田原市の花として、渥美半島に早春を告げる花	 <b>してこぶし【1806号】</b> 藤七原湿地植物群落は、田原市の天然記念物に指定	 <b>椿【1808号】</b> つばき公園(田原市)では200種500本の椿が楽しめる
 <b>ひまわり【1804号】</b> 夏に道路沿いやサテバルクたはらなどで楽しめる	 <b>菖蒲【1805号】</b> 賀茂しょうふ園(豊橋市)や初立池公園(田原市)で梅雨の時期に楽しめる	 <b>はまぼろ【1802号】</b> 自生北限である田原市堀切町の自生地は愛知県天然記念物に指定

※10種類のカラフルトレイン





※新豊橋駅



※豊橋鉄道の路線図

豊橋鉄道のリベンジを終え、豊橋発 15 時 25 分の電車を起点に帰宅の途につく。掛川、熱海、藤沢と乗り継いで、自宅には 20 時 35 分到着。久し振りに青春 18 きっぷの旅を満喫・堪能でき、最高の二日間であった。溝縁さんこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。8 月に入ってからも、山陰本線の仕上げの旅（出雲市～益田）などに挑戦します。旅はいいものですね。



※新豊橋駅（ひまわり）、高師駅



※15分かけて高師駅から南栄駅まで歩く（雨は上がっていた）



※南栄駅から柳橋駅までは電車で移動する



※新豊橋駅、豊橋駅



※掛川駅、熱海駅